

令和2年度 第3回 桐生市総合教育会議 議事録

○日時 令和2年8月20日(木) 午後3時30分～午後3時50分

○場所 桐生市市民文化会館 4階 スカイホールA

○出席者

【構成員】 桐生市長 荒木 恵司
桐生市教育委員会
教育長 柴崎 隆夫
教育長職務代理者 板橋 英之
教育委員 新居 理恵
教育委員 高山 信廣
教育委員 山野 玲子

【事務局】 《市長部局》
共創企画部長 新井 利幸
企画課長 田島 規宏
スポーツ振興課長 新井 敏彦
青少年課長 上原 敏行
企画課企画戦略担当係長 金子 貴征

《教育委員会事務局》
教育部長 西場 守
教育部参事 前原 通宏
総務課長 小山 貴之
学校教育課長 飯泉 尚士
教育支援室長 柴塚 雄太
生涯学習課長 藤川 恵子
新里公民館長 天沼 寿美雄
黒保根公民館長 柿沼 一盛
文化財保護課長 萩原 清史
図書館長 浅野 都
学校給食中央共同調理場長 園田 博宣
教育未来室長 原橋 貴史
教育未来室教育未来係長 千葉 敦弘
教育未来室教育未来係 寺島 達也

【傍聴者】 0名

【報道機関】 0名

○議事の概要

1 開会 〈司会：教育未来室長〉

2 市長あいさつ 〈荒木市長〉

皆様、こんにちは。

本日は、お忙しい中、「令和2年度 第3回 桐生市総合教育会議」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、先月22日の第2回総合教育会議において、皆様から頂戴いたしましたご意見を基に、素案の表現方法等を再検討し、第2期桐生市教育大綱の行政案を作成いたしました。

本日、委員の皆様には、第2期桐生市教育大綱の行政案をご確認いただきまして、大綱の策定に向け、忌憚のないご意見をいただきたいと考えております。

また、今後も、この総合教育会議を教育委員会の皆様との連携を深める場として、有効に活用させていただきながら、教育行政の更なる充実を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は、限られた時間ではありますが、有意義な会議となりますよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

3 協議・調整事項 〈議長：荒木市長〉

(1) 第2期桐生市教育大綱行政案について

・意見、質疑応答は以下のとおり。

発言者	発言内容
荒木市長	次第に従いまして、「3 協議・調整事項」の「(1) 第2期桐生市教育大綱行政案について」、事務局から説明をお願いします。
事務局 (教育未来室長)	本日、協議・調整していただきます第2期桐生市教育大綱行政案につきましては、お手元の参考資料「第2回桐生市総合教育会議 意見抜粋」にありますご意見を反映できるよう、素案の表現方法等を再検討したものとなっております。ご意見に対する検討結果や反映状況につきましては、各担当課長から説明させていただきます。
荒木市長	それでは、行政案5ページの「桐生ならではの特色ある教育の充実」について、また、「専門教育の充実」について、柴崎教育長、高山委員、板橋委員からご意見がありましたので、学校教育課長から、検討結果と反映状況の説明をお願いします。
事務局 (学校教育課長)	「桐生ならではの特色ある教育の充実」の中の「群馬大学と連携した事業等の拡充を図り、幼・小・中の一貫した教育プログラムの創出を目指します。」の表現について、高山委員から、高校については含まれないのか

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (学校教育課長)	<p>というご意見をいただきました。高校につきましては、市立商業高校以外は桐生市教育委員会の管轄外でありますので、統一して指導していくことは難しいという面があると思いますが、市内にある学校の生徒という認識の下、桐生ならではの教育につなげるという意味合いを残すために、これまでの「幼・小・中の一貫した」という表現を「幼児期からの一貫した」に変更させていただきました。</p> <p>次に、「黒保根町の特色ある教育として、国際理解教育の更なる充実を図ります。」の表現について、柴崎教育長と高山委員から、大綱の中では、黒保根地区に限定するのではなく、広く捉えた方が良いのではないかというご意見をいただきました。黒保根地区に限らず、市内のどの地域にも教育資源はたくさんあり、国際理解教育につきましても、世界に羽ばたく人材を育成するためには、全市的に充実を図る必要があると考えております。また、板橋委員から、外国語だけでなく外国文化に触れる機会の重要性についてもご指摘いただいたことを踏まえて、「豊かな自然、固有の歴史や伝統、人材等の地域の教育資源を生かした教育活動の充実を図ります。」という表現を「豊かな自然、固有の歴史や伝統、人材等、それぞれの地域の教育資源を生かした特色ある教育活動の充実を図ります。」に変更させていただきました。また、「黒保根町の特色ある教育として、国際理解教育の更なる充実を図ります。」という表現を「幼児期から外国語や外国文化に触れる機会を充実させるなど、国際理解教育の更なる推進を図ります。」に変更させていただきました。</p> <p>次に、「専門教育の充実」の「外国語に触れる機会をはじめ多岐にわたる経験を通じて、自分らしい生き方を実現する力を養います。」の表現について、板橋委員から、外国語か外国文化かというご議論をいただきましたが、この項目につきましては、本市の一つの特徴である市立商業高校の教育を想定していることから表現を明確にしまして、「商業高校における地元に着した就業体験や資格取得の促進など、多岐にわたる学習・経験を通じて、自分らしい生き方を実現する力を養います。」に変更させていただきました。</p>
荒木市長	<p>ただ今、学校教育課長から、柴崎教育長、高山委員、板橋委員のご意見に対する検討結果と反映状況について説明がありましたが、ご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
柴崎教育長	<p>黒保根町に限定した表現について、全市的に捉えてほしいということをお願いしましたが、こういった形で表現が変更されるのであれば、黒保根町の特色ある教育を一つの部分として残すことができ、また同時に、市全体を考えるとという意味では、こうした表現が良いと思います。</p>
荒木市長	<p>それでは、示された表現でよろしいでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
構成員	【異議なし】
荒木市長	次に、行政案5ページの「学校適正配置の推進」について、山野委員からご意見がありましたので、教育支援室長から、検討結果と反映状況の説明をお願いします。
事務局 (教育支援室長)	「学校適正配置の推進」について、ご説明いたします。前回、山野委員から、適正配置の推進について、幼稚園の適正配置や園数を減らす方針はないかというご意見をいただきました。ご指摘のとおり、市立幼稚園7園につきましても、園児数の減少が続いておりますので、適正配置の推進は喫緊の課題であります。しかしながら、このことにつきましても、公立の幼稚園だけでなく、公立の保育園等とも合わせて検討を進める必要があると考えております。従いまして、幼稚園は学校に含まれると考えまして、この教育大綱では幼稚園という言葉を入れず、「学習環境」を「教育環境」にさせていただき、「良好な教育環境を確保するため、学校の適正配置を推進します。」に変更させていただきました。
荒木市長	ただ今、教育支援室長から、山野委員のご意見に対する検討結果と反映状況について説明がありましたが、ご意見等がありましたらお願いいたします。
山野委員	良く分かりました。ありがとうございます。
荒木市長	それでは、示された表現でよろしいでしょうか。
構成員	【異議なし】
荒木市長	次に、行政案7ページの「社会教育の充実」について、柴崎教育長、新居委員からご意見がありましたので、生涯学習課長から、検討結果と反映状況の説明をお願いします。
事務局 (生涯学習課長)	<p>「社会教育の充実」に関するご意見について、ご説明いたします。</p> <p>まず、柴崎教育長から、これからは、子供に対する社会教育についてもしっかりと考える必要があります。桐生市では、放課後子供教室を実施しており、この事業は、子供の居場所づくりというよりも、子供の社会教育であると言えます。子供にも社会教育が必要であるということ意識していくため、社会教育の項目の表現について検討をとのご意見をいただきました。</p> <p>ご意見のとおり、放課後子供教室などは、子供に対する社会教育という観点から、今後一層推進していく施策であり、重点的な施策にしていく必要があると考えております。</p> <p>そういった観点から、第六次総合計画やこの教育大綱では、生涯学習の推進の中に、「学校・地域との連携の推進」の項目を3つ目の柱として新たに設けさせていただきました。放課後子供教室などの学校と地域が連携して実施する子供に対する社会教育の事業については、この項目の中に位</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (生涯学習課長)	<p>置付けさせていただいているところです。「地域全体で子供の成長を支えていく」という表現により、学校教育のみならず、子供の成長に必要な社会教育を地域の中で行うという趣旨を表現させていただいております。このため、文言の修正は行わず、子供に対する社会教育の重要性を明確に認識しながら、関連事業の推進を図ることとさせていただければと考えております。</p> <p>続きまして、新居委員から、学校現場の課題としてマンパワーの不足ということがあり、それを社会教育で補っている状況にあると思いますが、そういう部分について、大綱の中で触れた方が良いかを検討いただきたいのご意見をいただきました。この点につきましても、「学校・地域との連携の推進」の中の「学校・地域との連携により、地域全体で子供の成長を支えていく環境づくりを推進します。」の趣旨として、学校だけでなく地域の中で、また、社会教育の分野でも、子供の成長を担っていくことを表現しており、その中にはマンパワーの部分も含まれるものと考えております。このことから、文言の修正は行わず、ご意見の趣旨が反映されていることを十分に認識しながら、施策の推進を図っていくこととさせていただければと考えております。</p>
荒木市長	<p>ただ今、生涯学習課長から、柴崎教育長と新居委員のご意見について、「学校・地域との連携の推進」に含まれており、文言の修正はないという説明がありましたが、ご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
新居委員	<p>前回、大綱に反映させるのは難しいと思いながらも意見をお伝えさせていただいたのですが、そういったところも含めていることを確認できましたので、この表現で良いように思います。</p>
柴崎教育長	<p>私の意見につきましては、これからの社会教育のあり方について、もう一度考えていこうという観点から発言させていただきましたので、文言はこのとおりで趣旨を包含しているように思います。今後、行政として、子供の社会教育のあり方、指導者の養成の仕方、あるいは、組織のあり方を構築していく必要があるということを申し上げたくて発言させていただきましたので、表現としてはこれで良いと思います。そういったことを意識して教育行政を推進していきたいと考えております。</p>
荒木市長	<p>新居委員と柴崎教育長から、行政案の表現について、このままで良いという発言がありましたので、これから中身を検討する際に意識して進めていただければと思います。</p> <p>それでは、前回のご意見に対する検討結果と反映状況につきましては、以上となります。第2期桐生市教育大綱行政案について、原案のとおり進めさせていただくことでよろしいでしょうか。</p>
構成員	<p>【異議なし】</p>

発 言 者	発 言 内 容
荒木市長	<p>ありがとうございます。それでは、「第2期桐生市教育大綱行政案」につきましては、原案のとおりとさせていただきます。</p> <p>本日の議事は以上ですが、折角の機会でありますので、その他、皆様から何かございましたらお願いいたします。</p>
柴崎教育長	<p>この後、この教育大綱が正式に策定されれば、教育委員会にとって、教育施策に関する大きな柱ができることとなります。教育委員会といたしましては、この柱に基づき、桐生の全ての子供が健やかに成長していけるように、全力で一つ一つの施策に取り組み、成果をあげるべく努力をしていきたいと考えております。</p> <p>これからも、この総合教育会議はもとより、市長や市長部局と連携しながら、より効果的に施策を展開できるように努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆様のご指導やご協力をお願いいたします。</p>
荒木市長	<p>他にございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>本大綱の策定に当たりましては、教育委員の皆様はもちろんですが、今回は、桐生市PTA連絡協議会や桐生市公立幼稚園PTA連絡協議会の皆様のご意見をお聴きしながら、教育大綱の行政案ができたことを大変嬉しく思っています。この後、色々な手続きを経て、第4回目の総合教育会議に臨むこととなります。</p> <p>それでは、本日、予定しておりました議事は、以上になりますので、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の「4 その他」についてですが、今後の予定についてお知らせいたします。</p> <p>ただ今、大綱の行政案がまとまりましたので、9月1日から9月30日までの1か月間、パブリックコメントを実施し、広く市民の皆様のご意見をお聴きしたいと考えております。</p> <p>その後、10月上旬に第4回総合教育会議の開催を予定しております。日程につきましては、後日、調整させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、令和2年度第3回桐生市総合教育会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。</p>

4 閉会 〈司会：教育未来室長〉